

平成 15 年 10 月 28 日 (初版)

平成 16 年 6 月 1 日 (改訂版)

認定病院患者安全推進協議会
投薬 (与薬) プロセス検討部会
部会長 矢野 真

緊急提言 (改訂版)

アンプル型高濃度カリウム製剤の病棟および外来在庫の廃止

10%キシロカインの病棟および外来在庫の廃止

高濃度カリウム製剤および 10%キシロカインの急速静注による死亡事故が絶えないため、平成 15 年 10 月 28 日付で当部会より緊急提言を行い、多くの施設において事故防止対策をとっていただいております。

しかし、その後も同様の事故が相次いでおり、より厳重な対策が必要と感じられました。前回の提言では、特定の部署に在庫せざるを得ない場合に注意喚起のため差別化するよう提案しましたが、差別化を行なっても事故が発生している現状を踏まえて、例外なしにすべての病棟および外来 (救急カート含む) において在庫を廃止することを改めて提言いたします。

1. アンプル型高濃度カリウム製剤、10%キシロカインのすべての病棟および外来

(救急カート含む) 在庫の廃止

* アンプル型高濃度カリウム製剤には次のような製剤があります。

塩化カリウム、K.C.L、コンクライト K、アスパラ K、コンクライト P、補正用リン酸二カリウムなど

* これらの製剤の希釈は薬剤部で行なう必要があります。

2. エラープルーフを考慮した製剤の採用

* 三方活栓に接続できないプレフィルドシリンジ型塩化カリウム製剤^{*1} やボトル間でのみの混合が可能なボトル型塩化カリウム製剤^{*2} があります。(*1 : メディJECT K ハードキャップタイプ、*2 : KCL 補正液キット 20メック)

3. 希釈製剤の採用

* 1%リドカイン 200ml の製剤^{*3} があり、これを利用することで 10%キシロカインを希釈する必要がなくなります。(*3 : オリベス K)

「2、3」を採用することで、アンプル型高濃度カリウム製剤と 10%キシロカインを病院から排除することが可能と思われます。

以上

* 本緊急提言の解説などについては、患者安全推進ジャーナル 4、5 号等を参照してください。